

教職大学院での学びについてのアンケート

(対象者)

教員免許状更新講習 受講者

講習名：教育の最新事情

実施日：7月28日、8月3日、8月4日

(アンケート回収数)

回答者数397名から、本学教職大学院対象となる主幹教諭、指導教諭、教諭、講師(284名)を抽出した。

【回答者について】

○ 現在の職

	④主幹教諭	⑤指導教諭	⑥教諭・講師
人数(人)	1	2	281
割合(%)	0.4%	0.7%	98.9%

○ 年齢

	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳～
人数(人)	9	141	57	61	16
割合(%)	3.2%	49.6%	20.1%	21.5%	5.6%

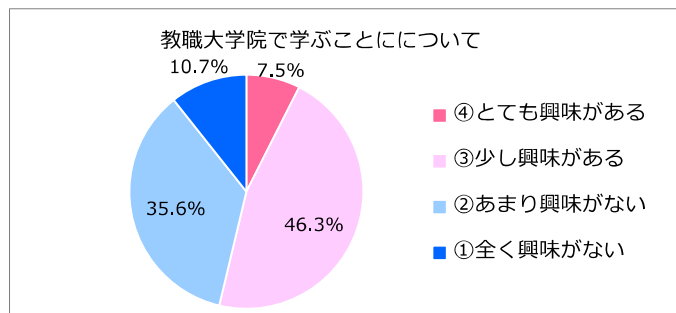
○ 現在勤務する学校種

	①幼稚園	②小学校	③中学校	④高等学校	⑤中等教育学校	⑥特別支援学校	⑦義務教育学校	⑧その他
人数(人)	37	96	59	68	2	14	0	11
割合(%)	12.9%	33.4%	20.6%	23.7%	0.7%	4.9%	0.0%	3.8%
【記述】	⑧その他 中高一貫1 認定こども園5 保育園1							

【教職大学院への興味・関心】

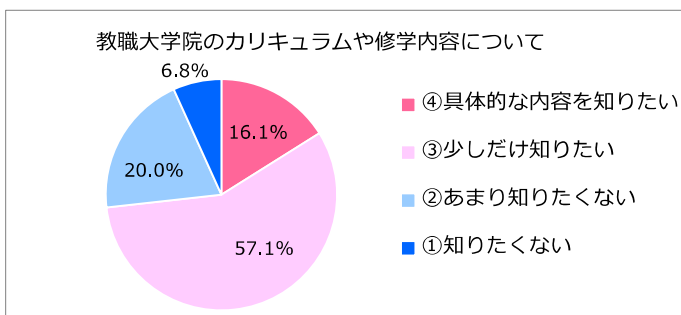
○ 教職大学院で学ぶことについて

	④とても興味がある	③少し興味がある	②あまり興味がない	①全く興味がない
人数(人)	21	130	100	30
割合(%)	7.5%	46.3%	35.6%	10.7%



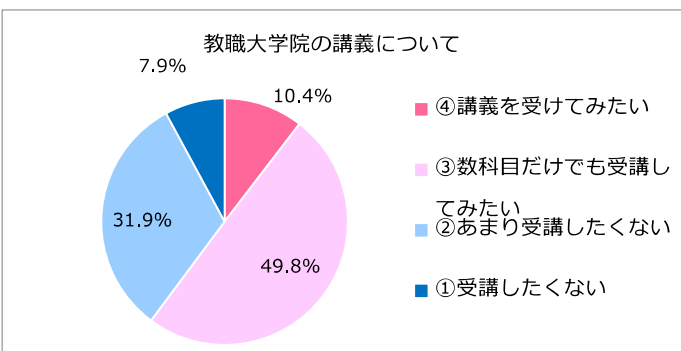
○ 教職大学院のカリキュラムや修学内容について

	④具体的な内容を知りたい	③少しだけ知りたい	②あまり知りたくない	①知りたくない
人数(人)	45	160	56	19
割合(%)	16.1%	57.1%	20.0%	6.8%



○ 教職大学院の講義について

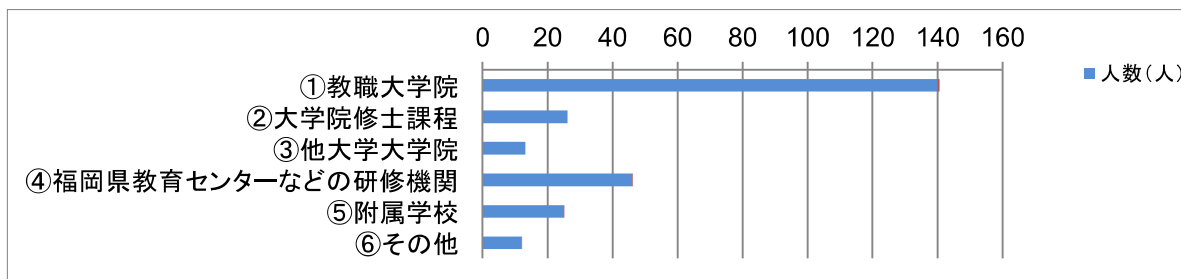
	④講義を受けてみたい	③数科目だけでも受講してみたい	②あまり受講したくない	①受講したくない
人数(人)	29	139	89	22
割合(%)	10.4%	49.8%	31.9%	7.9%



【希望する研修機関と内容】

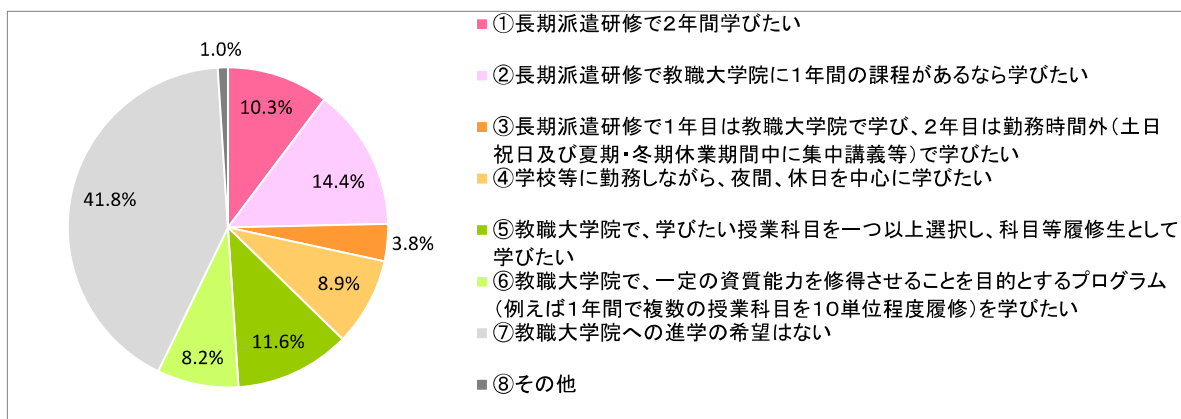
○ 長期派遣研修を希望する場合の研修先について

	①教職大学院	②大学院修士課程	③他大学大学院	④福岡県教育センターなどの研修機関	⑤附属学校	⑥その他
人数(人)	140	26	13	46	25	12
割合(%)	53.4%	9.9%	5.0%	17.6%	9.5%	4.6%
【記述欄】	③大学名 九州大学4 上智1 広島大学3 九州工業大1 佐賀大学1 大阪教育大学1 筑波大学3 工業系1 ⑥その他 国立特別支援教育総合研究所1 福岡県体育研究所1 イギリスのリーズ大学院1					



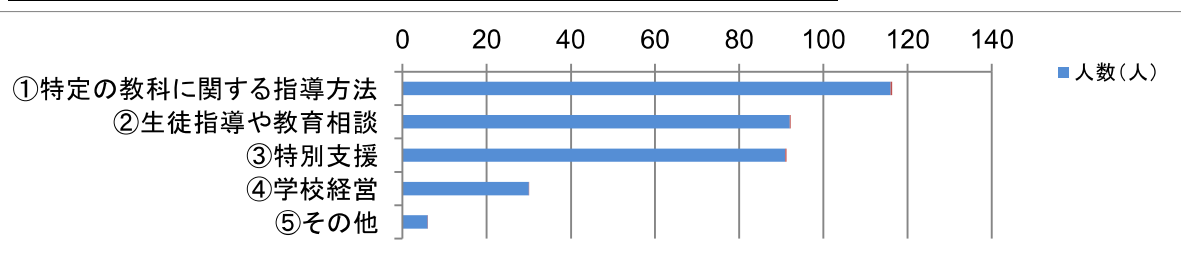
○ 教職大学院への進学について

	①長期派遣研修で2年間学びたい	②長期派遣研修で教職大学院に1年間の課程があるなら学びたい	③長期派遣研修で1年目は教職大学院で学び、2年目は勤務時間外(土日祝日及び夏期・冬期休業期間中に集中講義等)で学びたい	④学校等に勤務しながら、夜間、休日を中心に学びたい	⑤教職大学院で、学びたい授業科目を一つ以上選択し、科目等履修生として学びたい	⑥教職大学院で、一定の資質能力を修得させることを目的とするプログラム(例えば1年間で複数の授業科目を10単位程度履修)を学びたい	⑦教職大学院への進学の希望はない	⑧その他
人数(人)	30	42	11	26	34	24	122	3
割合(%)	10.3%	14.4%	3.8%	8.9%	11.6%	8.2%	41.8%	1.0%
【記述欄】	③その他 記載無し							



○ 下記のうち、教職大学院で学ぶ際のコースの希望について(該当するもの2つ以内で選択)

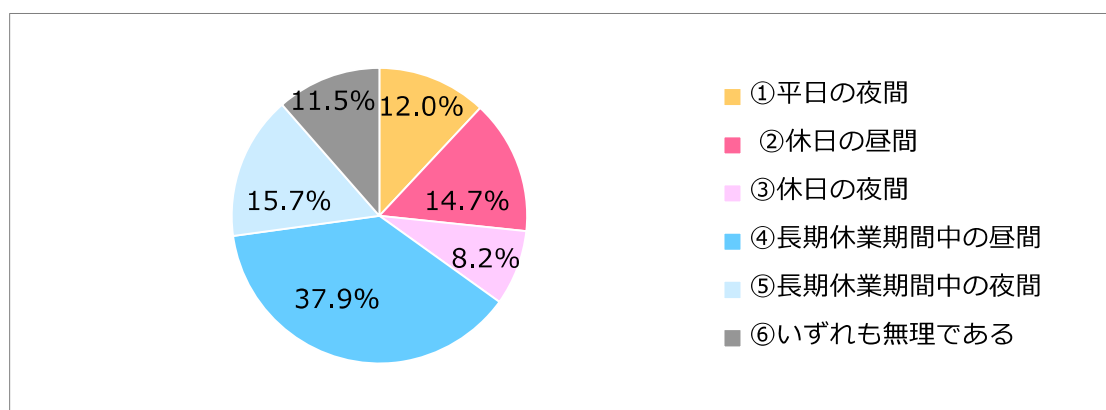
	①特定の教科に関する指導方法	②生徒指導や教育相談	③特別支援	④学校経営	⑤その他
人数(人)	116	92	91	30	6
割合(%)	34.6%	27.5%	27.2%	9.0%	1.8%
【記述欄】	①教科 国語6 算数・数学15 英語11 理科4 工業1 社会・地歴・公民4 家庭科2 音楽3 体育4 特活1 ⑤その他 特定の教科、学校司書の資格、栄養教諭				



【その他 遠隔授業システムや制度について】

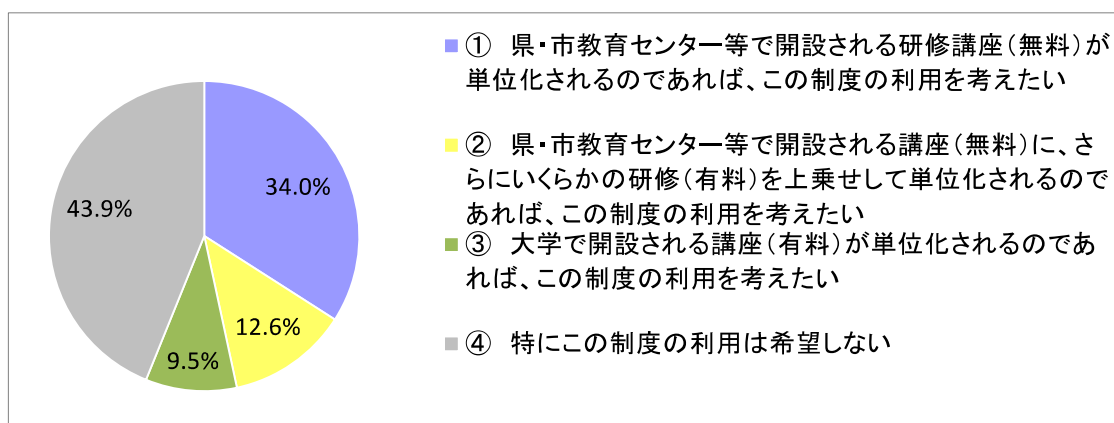
○ 本学では、附属小倉地区、附属福岡地区、附属久留米地区の各学校内に大学院での授業等で活用できるサテライト教室を設けています。これらの教室で本学（宗像市）との遠隔授業システム（インターネット回線を利用した双方向の授業）により授業を実施できるようにしており、現職教員の方々が、全ての授業時間を宗像市まで通わなくてもよい授業科目を編成できるようにしています。このような授業形態において、日常の学校勤務と並行して通学されるとしたら、以下のどの時間等が都合がよいですか。該当するものすべてに「○」を付してください。

	①平日の夜間	②休日の昼間	③休日の夜間	④長期休業期間中の昼間	⑤長期休業期間中の夜間	⑥いずれも無理である
人数（人）	48	59	33	152	63	46
割合（%）	12.0%	14.7%	8.2%	37.9%	15.7%	11.5%



○ 現在、受講した研修を単位としてためていく「マイレージ制度」（仮称）によって、教職大学院の学びに充当させたり、専修免許状の取得につなぐ方法を実施及び検討しています。これについてお尋ねします。該当するものすべてに「○」を付してください。

	① 県・市教育センター等で開設される研修講座（無料）が単位化されるのであれば、この制度の利用を考えたい	② 県・市教育センター等で開設される講座（無料）に、さらにいくつかの研修（有料）を上乘せして単位化されるのであれば、この制度の利用を考えたい	③ 大学で開設される講座（有料）が単位化されるのであれば、この制度の利用を考えたい	④ 特にこの制度の利用は希望しない
人数（人）	111	41	31	143
割合（%）	34.0%	12.6%	9.5%	43.9%



教職大学院での学びについてのアンケート

福岡教育大学

◎ 福岡教育大学には、大学院に修士課程と教職大学院（専門職学位課程）があり、多くの現職教員の方が学ばれています。現在、教育系の大学を中心に、修士課程を縮小又は廃止し、教職大学院に教科指導領域を加えた新しい教職大学院へ改組する大学が増えています。本学においても、現在検討を進めているところです。

そこで、現職教員の先生方、また、現職教員でない方や教職大学院に興味がない方からも広くご意見を賜りたいと考えておりますので、ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

◎ **質問は8問あります。該当する項目に「○」を付してください。また、内容にご不明な点がございましたら、同時に配付いたしております「福岡教育大学教職大学院パンフレット（生徒指導・教育相談リーダーコース、学校運営リーダーコース）」もご参照ください。**

◎本アンケートは、あくまで先生方のニーズ等をお伺いし、本学の検討作業の中で参考とさせていただくためのもので、個々のアンケート結果を公表するようなことはございません。

◎ 本学教職大学院では、高度な教育実践力の向上を目指しています。具体的には、管理職や中核的な教員として必要な学校運営のマネジメント力、生徒指導・教育相談・特別支援教育にかかる実践的指導力、そして事例研究や模擬授業などを通しての高度な実践的な指導力・応用力を身に付けることができます（修士論文作成は不要、教職修士の学位を取得）。本学では2年間で所定の科目を48単位以上取得する必要があります。

◎ 本学教職大学院には、福岡県・福岡市・北九州市の教育委員会から2年間派遣されて学ぶ（長期派遣）公立学校教員が多数います。また、他大学には、教育委員会からの派遣ではなく、勤務をしながら夜間・休日を中心に学べるコースや1年間で修了できるコースもあります。

問1. 回答して下さる方についてお尋ねします。該当するものに「○」を付してください。

（1）年齢

- ①20～29歳 ②30～39歳 ③40～49歳 ④50～59歳 ⑤60歳～

（2）現在の職

- ①校長・園長 ②副校長・副園長 ③教頭 ④主幹教諭 ⑤指導教諭
⑥教諭・講師 ⑦養護教諭 ⑧栄養教諭 ⑨その他（ ）

（3）現在勤務する学校種

- ①幼稚園 ②小学校 ③中学校 ④高等学校 ⑤中等教育学校
⑥特別支援学校 ⑦義務教育学校 ⑧その他（ ）

問2. 教職大学院についてお尋ねします。該当するもの一つに「○」を付してください。

(1) 教職大学院で学ぶことについて

- ④とても興味がある ③少し興味がある ②あまり興味がない ①全く興味がない

(2) 教職大学院のカリキュラムや修学内容について

- ④具体的な内容を知りたい ③少しだけ知りたい ②あまり知りたくない ①知りたくない

(3) 教職大学院の講義について

- ④講義を受けてみたい ③数科目だけでも受講してみたい ②あまり受講したくない
①受講したくない

問3. 長期派遣研修を希望する場合、下記のどちらの機関に興味がありますか。該当するもの一つに「○」を付してください。

- ①福岡教育大学教職大学院
②福岡教育大学大学院修士課程
③他大学大学院（大学名： ）
④福岡県教育センターなどの研修機関
⑤附属学校
⑥その他（ ）

問4. 教職大学院への進学についてお尋ねします。該当するもの一つに「○」を付してください。

- ①長期派遣研修で2年間学びたい。
②長期派遣研修で教職大学院に1年間の課程があるなら学びたい。
③長期派遣研修で1年目は教職大学院で学び、2年目は勤務時間外（土日祝日及び夏期・冬期休業期間中に集中講義等）で学びたい。
④学校等に勤務しながら、夜間、休日を中心に学びたい。
⑤教職大学院で、学びたい授業科目を一つ以上選択し、科目等履修生として学びたい。
⑥教職大学院で、一定の資質能力を修得させることを目的とするプログラム（例えば1年間で複数の授業科目を10単位程度履修）を学びたい。
⑦教職大学院への進学の希望はない。
⑧その他
（ ）

問5. 下記のうち、教職大学院で学ぶとしたら、どのコースを希望しますか。該当するもの二つ以内に「○」を付してください。

①「特定の教科に関する指導方法」について重点的に学ぶコース

【修了後の進路：研究主任・教科主任・指導教諭・指導主事等を想定】

(教科：)

②「生徒指導や教育相談」について重点的に学ぶコース

【修了後の進路：生徒指導主任・コーディネーター・指導主事等を想定】

③「特別支援」について重点的に学ぶコース

【修了後の進路：特別支援コーディネーター・指導主事等を想定】

④「学校経営」について重点的に学ぶコース

【修了後の進路：指導教諭・主幹教諭や教頭以上の管理職・指導主事等を想定】

⑤その他

()

問6. 本学では、附属小倉地区、附属福岡地区、附属久留米地区の各学校内に大学院での授業等で活用できるサテライト教室を設けています。これらの教室で本学（宗像市）との遠隔授業システム（インターネット回線を利用した双方向の授業）により授業を実施できるようにしており、現職教員の方々が、全ての授業時間を宗像市まで通わなくてもよい授業科目を編成できるようにしています。このような授業形態において、日常の学校勤務と並行して通学されたとしたら、以下のどの時間等が都合がよいですか。該当するものすべてに「○」を付してください。

①平日の夜間

②休日の昼間

③休日の夜間

④長期休業期間中の昼間

⑤長期休業期間中の夜間

⑥いずれも無理である

※「夜間」は、18：00～21：15を想定しています。

問7. 現在、受講した研修を単位としてためていく「マイレージ制度」（仮称）によって、教職大学院の学びに充当させたり、専修免許状の取得につないだりする方法を実施及び検討しています。これについてお尋ねします。該当するものすべてに「○」を付してください。

- ① 県・市教育センター等で開設される研修講座（無料）が単位化されるのであれば、この制度の利用を考えたい。
- ② 県・市教育センター等で開設される講座（無料）に、さらにいくつかの研修（有料）を上乗せして単位化されるのであれば、この制度の利用を考えたい。
- ③ 大学で開設される講座（有料）が単位化されるのであれば、この制度の利用を考えたい。
- ④ 特にこの制度の利用は希望しない。

問8. 教職大学院での学びに関して、ご意見があれば自由にお書きください。

ご協力ありがとうございました。

